

社協雄飛ヶ丘支部だより

ゆうひ

平成6年度第1号

発行：社協雄飛ヶ丘支部
発行日：平成6年5月15日(日)

今日の社協支部だより「ゆうひ」
表「ごあいさつ・新年度役員総会を開催」
裏「新年度の支部社協活動計画と予算」



平成6年度雄飛支部社協活動はじまる

ごあいさつ

社協雄飛ヶ丘支部長 松岡憲郎
支部社協役員一同

雄飛ヶ丘地区の支部社協会員の皆さん、社協雄飛ヶ丘支部活動は新しく平成6年度の活動に向かうこととなりました。

昨年度中は、旧役員の皆さん・ボランティアの皆さんに支部社協の活動にたいへんなお骨折りをいただきありがとうございました。また、支部長としてご尽力いただきました荒川政夫さんが本年三月にご逝去されるといふ悲しいできごともございました。心よりご冥福をお祈りする次第でございます。

さて、社協雄飛ヶ丘支部は、毎年八月に行われる市社会福祉協議会への会員募集において社協の会員となっていたいておりますが、その会費の一部が支部社協に還元され、それを活動資金として社会福祉活動を行っているボランティア組織でございます。平成5年度の雄飛ヶ丘地区の全世帯に占める会員率はほぼ九〇％となっております、社会福祉活動に非常に熱心な地区と評価されております。

昨年度においても、近隣ケアグループの皆さんを対象とした介護講習会、「子供たちに福祉の心を」というテーマで夏休みに行う福祉野外映画会、独り暮らしのご老人への慰問会や食事の会の開催などの多くの行事を催してまいりました。

新しい年度を迎えたことから、去る四月十七日には支部社協役員総会を開催し、新しい年度の事業計画や予算についてご検討いただいたところであります。平成6年度の活動計画と予算については裏面に掲載いたしましたのでご参照ください。

今年度も多くのおみなさんのご協力を得て、昨年度以上に雄飛ヶ丘地区における福祉の輪を広げる活動を行ってまいりたいと考えています。

皆様方のご協力を切にお願いし、ごあいさつとさせていただきます。

平成6年度 社協雄飛ヶ丘支部 役員名簿			
役職名	氏名	町内名	備考
支部長	松岡憲郎	町内名	連合自治会長
副支部長	大山安太郎	入会町	連合自治副会長
会 計	多和田英夫	雄三	民生児童委員
書 記	浅野敏子	雄二	民生児童委員
福祉推進員	今西貞子	入会町	民生児童委員
常任理事	長田多美男	雄十	連合自治会会計
	山内忠夫	雄七	民生児童委員
	(氏名省略)		
	○各自治会長		
	○民生児童委員		
	○手力雄神社総代		
	○雄飛ヶ丘消防団班長		
	○三代ふれあい推進委員		
	○近隣ケアグループ代表		
	○補導員		
	○ユイエス通り会会長		
	○那加二小PTA副会長		
	○桜丘中PTA副会長		
	○ボランティア		
監 事	伊藤亮三	雄一	老人会市連理事
	飯田鈴江	雄三	ボランティア

(いずれも敬称省略)



平成6年度社協雄飛ヶ丘支部役員総会
(平成6年4月17日、雄飛公民館)

平成6年度支部社協年間活動計画

(雄飛ヶ丘支部)

月	日	曜	活動計画	月	日	曜	活動計画
4	9	土	○常任理事会	10	7	金	○常任理事会(献立会議)
	17	日	○支部社協役員総会 ・平成5年度活動実績及び決算 ・平成6年度活動計画及び予算		10	日	○三世代地区体育大会
					14	金	○高齢者を囲む食事の会
5	20	金	○常任理事会 ※「支部だより」第1号 編集・発行	11	13	日	○「市民清掃の日」参加
					26	土	○市福祉大会 ※「支部だより」第4号 編集・発行
6	19	日	○在宅介護講習会(市社協) ○地区スポーツ大会共催 (予定:インディアカ大会)	12	16	金	○常任理事会
	24	金	○常任理事会		25	日	○年末友愛訪問
7	23	土	○福祉野外映画会	1			※「支部だより」第5号 編集・発行
	24	日	○「市民清掃の日」参加 ※「支部だより」第2号 編集・発行				
8	19	金	《会員増強月間》 ○常任理事会	2	24	金	○常任理事会(献立会議)
	未定		○近隣ケアグループ講習会				
9	11	日	○市福祉フェスティバル参加	3	3	金	○独居老人を囲む会
	18	日	○三世代地区クローケーゴルフ大会主催 ※「支部だより」第3号 編集・発行		10	金	○常任理事会 ・総括及び決算 ※「支部だより」第6号 編集・発行

平成6年度支部社協収支予算

(雄飛ヶ丘支部)

1) 収入の部

区分	予算額(円)	備考
1 支部交付金	235,000	支部会員の会費の40%
2 市社協助成金	204,000	(メニュー事業助成金) ・高齢者及び独居老人を囲む会 84,000円 ・支部だより発行(2回分) 120,000円
3 繰越金	235,645	平成5年度からの繰越金
4 雑収入	1,000	預金利息
5		
計	675,645	

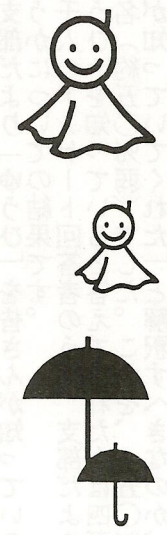
2) 支出の部

区分	予算額(円)	備考
1 事務費	3,000	印刷(コピー代)
2 共通実施事業	72,000	
1) 福祉教育事業		
2) 友愛訪問事業	52,000	年末友愛訪問, 対象者数65名
3) 支部育成事業	20,000	総会1, 常任理事会6, 献立会議2, 編集2, 講習会2
4) 会員募集事業		
3 メニュー事業	210,000	
1) 福祉映画会	15,000	雄飛ヶ丘公園にて開催予定
2) ふれあい事業	125,000	高齢者及び独居老人を囲む会各1回
3) 支部だより	70,000	1,300部を6回分
4)		
4 その他の事業	280,000	
1) ふれあい事業	40,000	地区スポーツ大会協賛
2) "	50,000	地区三世代体育大会共催
3) "	90,000	地区三世代クローケーゴルフ大会主催
4) 啓発事業	100,000	新規事業
5 予備費	110,645	
計	675,645	

ゆうひ

平成6年度第2号

発行：社協雄飛ヶ丘支部
支部長 松岡憲郎
発行日：平成6年6月15日（水）



今日の社協支部だより「ゆうひ」
表面 市社協によるアンケート調査結
裏面 果（雄飛ヶ丘支部）について

福祉のまちづくりのための 住民意識調査結果（雄飛支部分）がまとまりました

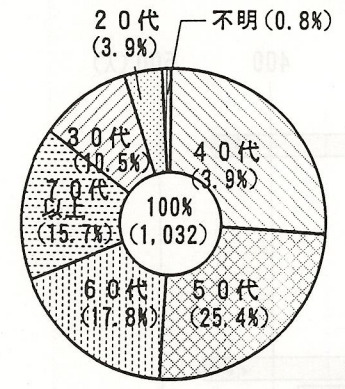
昨年（十一月）に市社協により「福祉のまちづくりのための住民意識調査」（アンケート調査）が実施され、雄飛ヶ丘地区の会員の皆さんにご協力いただきました。

その結果が集約できましたので、今回、主要な項目のアンケート結果をお知らせします。

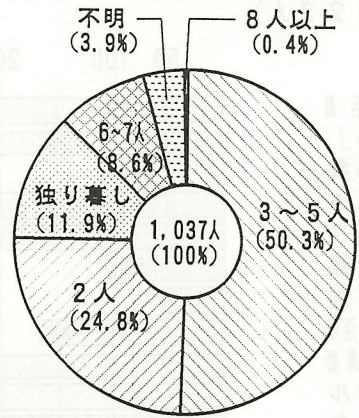
このアンケートには雄飛ヶ丘支部社協の会員（会員数一、〇七九世帯）の約九十五%にあたる一、〇三七世帯の会員の皆さんからアンケートの回答が寄せられています。

【雄飛ヶ丘地区の家族構成】

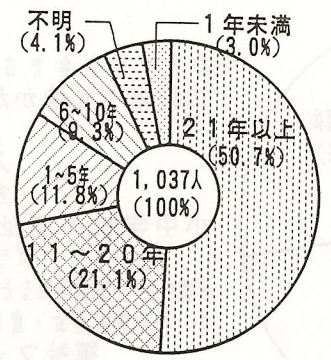
1. 世帯主の年齢



2. 家族構成

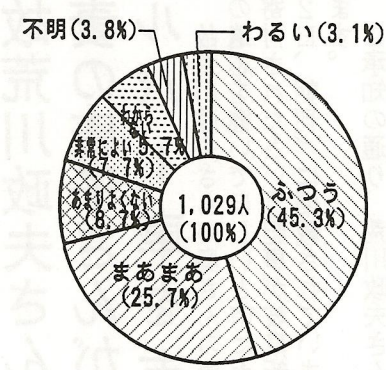


3. 雄飛ヶ丘地区の住み始めてからの年数

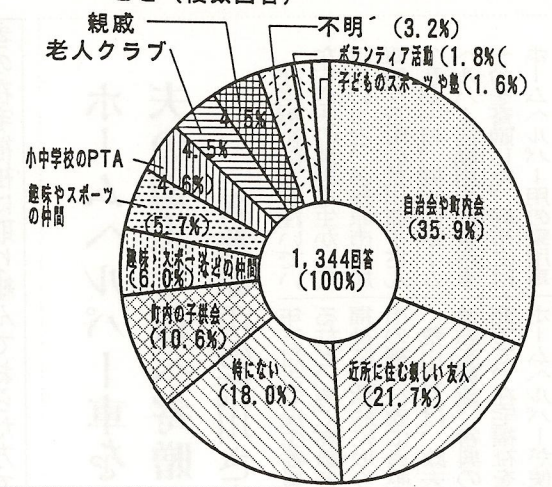


【近所づきあいについて】

1. 住んでいる地域のまとまりについて

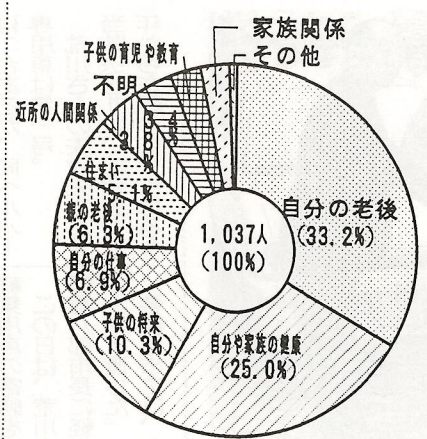


2. 近所づきあいの中で一番関わりのあること（複数回答）

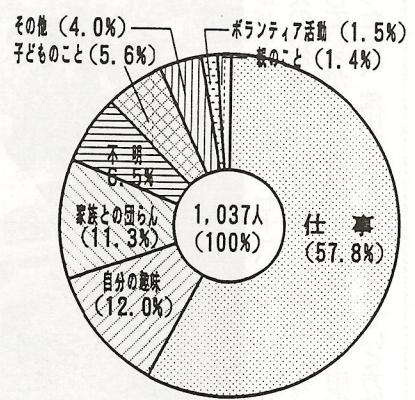


【現在あるいは将来の老後について】

1. 特に気がかりなこと



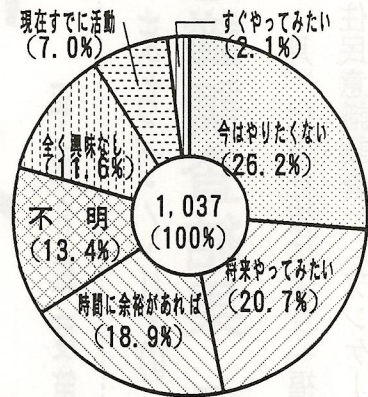
2. 生活の中で一番時間や労力を費やしていること



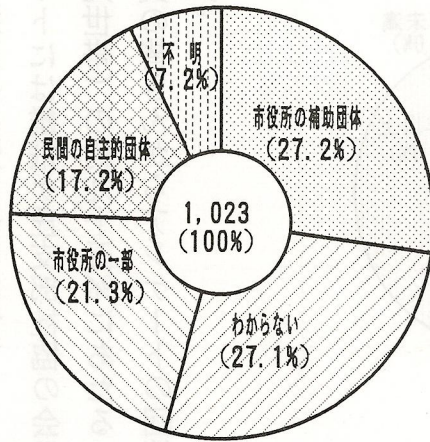
（裏面につづく）

【社会福祉協議会について】

3. ボランティア活動をしてみたいですか。

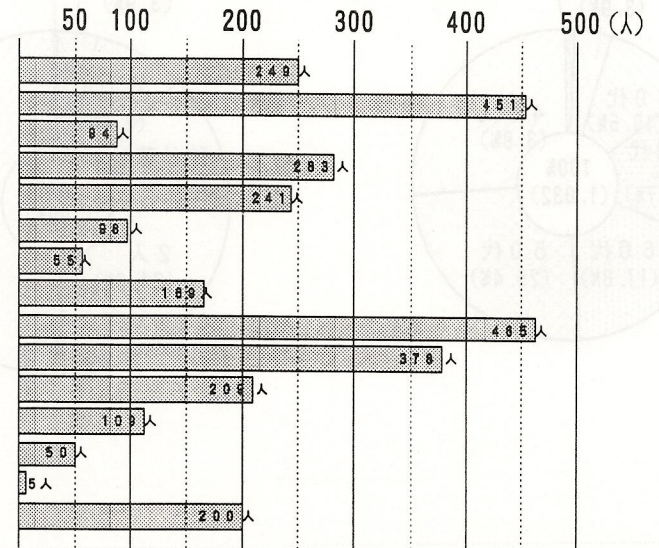


1. 社会福祉協議会はどんな団体だと思いますか。



2. 社会福祉協議会の事業で知っている事業について (複数回答)
(回答者数: 1,023人)

- 校下や自治会での支部社協活動
- 広報紙「社協かかみがはら」
- 会員募集
- 入浴サービス
- 食事サービス
- 小中学校の福祉協力校事業
- ボランティア塾
- 手紙や点字、朗読専仕などのボランティア活動
- 赤い羽根共同募金・歳末たすけあい運動
- 福祉フェスティバル
- 社会福祉大会
- 介護者のつどい
- 看板、啓発塔や横断旗
- その他
- わからない



今後の支部社協の活動：7月23日(土) 福祉野外映画会 7月24日(日) 市民清掃の日

編集後記
今月号は昨秋に行われたアンケート調査結果の特集号となりました。非常に興味を引いたことを一つだけ書くこととします。それはもちろん、この支部だより「ゆうひ」を皆さんが知っているかどうかについての結果です。約千人のアンケート回答者のうち、支部だより「ゆうひ」を知っていると答えてくれた人は四百八〇名(約五〇%弱)でした。これを、「五〇%の人が知っている」と解釈すべきなのか、「五〇%と解釈すべきなのか」と解釈すべきなのか?



平野喜八郎市長にホームヘルパー専用車のキーを手渡す荒川康子さん—各務原市役所

荒川康子さん(4町内)がホームヘルパー車を市に寄贈
(平成6年6月2日、岐阜新聞)

ホームヘルパー車を
夫の遺志で市へ寄贈
各務原市の荒川さん

在宅福祉に力を注いでいる三月まで民生委員を務めた亡き夫の遺志を生かして、特に高齢者の在宅ほしいと、各務原市那加市、雄飛ケ丘町の荒川康子さん(65)が一日、同市にホームヘルパー活動用の軽乗用車一台を寄贈した。同市にはホームヘルパー用の乗用車は二台あるが、同ヘルパー専用車は第一号。荒川さんの夫政夫さん(78)は、昭和五十八年(一九八三年)に亡くなった。各務原市には、ホームヘルパーに力を使っているなど、特に高齢者の在宅福祉に意欲的に取り組む市の福祉行政に貢献した。荒川さんは、政夫さんの遺志を尊重、香典の一部を充てて、在宅福祉を支えるホームヘルパーが使用する軽乗用車の寄贈を決めた。この日は、荒川さんが平野喜八郎市長に軽乗用車のキーを手渡した。

故荒川政夫さんの奥さんの康子さんが、亡き夫の遺志を継いでほしいと市にホームヘルパー車を寄贈されたという記事が岐阜新聞(平成6年6月2日、朝刊)に掲載されていましたのでご紹介します。
ご承知の通り、荒川政夫さんは社協雄飛ケ丘支部長を、また、長い間民生委員も努められ、高齢者の在宅福祉に取り組んでおられた方でした。